

平成28年度 第3回総合開発委員会会議録（要旨）

【開催日時・場所】

平成29年2月23日（木） 13：30～ 八雲町役場第1・2会議室

【出席者】 委員：坂野俊樹、刀禰清貴、平野百合子、長谷部修、秋松等、阿部政邦、
加藤寛喜、富田直和、川口洋子、長江隆一、日村伸、小笠原英毅、
大野博子、吉田久子、竹浜俊一

町長：岩村町長、伊瀬副町長、植杉副町長、各課長

傍聴者：1名

コンサル：1名

【要旨】

○第2期八雲町総合計画策定について

- ・第2期八雲町総合計画町民会議実施結果について説明した。
- ・新八雲町総合計画の評価について説明した。
- ・第2期八雲町総合計画基本構想骨子（案）について説明し、質疑を受けた。

【内容】

1. 開会
2. 町長挨拶
3. 会長挨拶
4. 第2期八雲町総合計画策定について
 - (1) 第2期八雲町総合計画町民会議実施結果について
資料1について企画振興課企画係長より説明。
 - ・質疑なし
 - (2) 新八雲町総合計画の評価について
資料2について企画振興課企画係長より説明。
 - ・質疑なし

(3) 第2期八雲町総合計画基本構想骨子(案)について

資料3について企画振興課企画係長より説明。

・質疑

(会 長)

- ・資料3は八雲の将来に関わる重要な内容である。今の説明についてご意見・質問はあるか。

(委 員)

- ・もう少しわかりやすくないか。計画の推進は町民の理解・協力が必須である。文字が多く、資料が分厚いと読みづらい。すべてを読まなくても、パッと見て、八雲町の重点的な取り組みや、町民の役割がわかるように工夫していただきたい。

(会 長)

- ・5ページにある将来像などから、こういう方向性を目指すということがわかるのではないか。

(委 員)

- ・町民会議の提案があるが、これですべてをまとめたものといえるのかということも含めて、再検討していただきたい。

(町)

- ・町民にとってわかりやすい計画書をつくるというご指摘はおっしゃるとおりである。現行の総合計画についても議会からもっとわかりやすい内容にしてほしいという要望があり、町長からもシンプル化を図るように指示を受けている。そうした観点から、現行計画では7つの章で構成されていた内容を、5つに絞っている。施策についても、57から32に集約している。計画書を今後文章化する際は、「将来像」⇒「5つの目標」⇒「施策分野」という流れをわかりやすく表現していきたい。次回の会議で、またわかりづらい点があればご指摘いただきたい。

(委 員)

- ・5ページの将来像のキャッチフレーズは、「織りなす」「賑わい」をひらがな表記にし、「幸福」を「しあわせ」に変更してはどうか。また、10ページの戦略プロジェクトについて「八雲町自治基本条例に基づき町民が主体となって、議会・行政との協働により推進」とあるが、これはこの2つのプロジェクトをこういう形で推進するという意味か。

(町)

- ・「協働」はまちづくりすべてに関わるものであることから、このフロー図に記載しているが、プロジェクトだけをこういう形で進めるという意味で記載したものではない。

(委員)

- ・「八雲町自立促進」とあるが、「促進」を「推進」というのが言葉としてやや引っかかるような気がする。意図としては理解できる。

(町)

- ・計画書にはこれだけを示すわけではなく、より詳細な内容も加えていく。現時点では全体像をフロー図としてお示ししているということをご理解いただきたい。

(委員)

- ・3ページの人口問題については、東京圏一極集中だけでなく、北海道の八雲町なので札幌への一極集中にも触れるべきではないか。

(町)

- ・その点は追加して修正させていただきたい。

(委員)

- ・攻めの施策があまり見えない。人口が減少するのはわかるが、これを維持・増加するという考えはないのか。人口が減少すると財政も厳しくなると思うが、そうした状況は町民にも影響すると思われる。そうした危機感を伝えることで、各施策をやる意義が伝わりやすくなるのではないか。また、自給自足をめざす、ということだが、八雲町の食料自給率は現在どうなっているのか。

(町)

- ・自給率の現在の状況は押さえていない。

(委員)

- ・現時点の自給率を教えていただき、目標を示していただければ、様々な案が出せると思う。

(町)

- ・具体的な事業については、基本計画の中でお示ししていく。事業が見えた中で足りない点をご指摘いただきたい。また、人口減少対策については、昨年度策定した人口ビジョン・総合戦略で議論いただいたが、働く場所・若者が子どもを産める状況が人口の増加の手立てとして位置づけている。そうした部分はこの計画の中でも示していきたい。町民の危機感については、人口減少は経済に大きな影響を及ぼす、そういった観点から町政に関心を持っていただき、様々なアイデアも出していただくことも必要と考えている。危機感を前面に出した計画は作りづらいところがあるが、人口が減少するという部分が町民にとっての危機感につながると考える。

(委員)

- ・もう少し文章の内容をダイレクトな表現にした方がいいということか。

(委員)

- ・例えば、「この施策をやったら人口100人維持できる」といったようなことだが、そうした記載は難しいこともわかる。

(委員)

- ・表現が柔らかすぎる、もう少し危機感を感じるような文章表現にした方がいいと、自身も感じる。

(会長)

- ・先ほどの秋松委員の将来像についてのご意見もそうだが、町民にわかりやすく、というのが重要ということではないか。

(委員)

- ・32の施策分野を置くということで、今後各論に入っていくことと考える。町民が主体ということで、本日自身は団体の代表として来ているが、団体としてはどの施策分野で貢献できるのか、各組織がどの施策分野で貢献できるかまで明らかにできれば、町民主体の取り組みになる。「町民主体」とだけ言われても、自分がどの分野で貢献できるかが非常にわかりづらい。各論の記載の段階で、そこまで検討していただきたい。自給率については、八雲町の中だけで完全な自給自足は難しいと考える。周辺の地域と連携し、広域的に自給自足をめざすことが現実的ではないか。

(町)

- ・町民がどの分野で貢献できるかわかりやすく、ということだが、どこまで現実的に対応が可能か明らかではない。今後各論を作り上げる中でできる限りの努力をする、ということをご理解いただきたい。

(委員)

- ・資料1に「呼び起こそう！自然美術館 八雲」とあるが、このキャッチフレーズは15年ほど前に町でつくったものだが、非常に不評であった。その後一切このフレーズが出てくることはなかったが、今、再びここに出されている。なぜこのフレーズが不評だったかを考え、この言葉を工夫してみてはどうか。

(町)

- ・町民ワークショップから提案された事業であり、基本計画・実施計画の中に事業として取り込んでいくことを検討している。その中で、このフレーズを活かすのか、別な視点で自然を表現するような言葉に変更するのか、担当部署で検討していく。

(委員)

- ・5ページの将来像について、これまでの会議で一度も話題に上がっていない中で、ここに出てきていることに違和感がある。本計画は来年の2月に策定予定であり、このキャッチコピーについては町民からフレーズを集めるとい

う方法も検討いただきたい。過去には「人と自然が織りなすアーバン模様の町、八雲」「自然美術館 八雲」もあったが、こうしたものは提言を受けた形で作られてきたため、町民には浸透してこなかった。再考いただきたい。

3ページの「(2) 地域間の連携強化」について、地方創生の中で平成27年から4町連携で教育・文化・スポーツを様々な取り組みを進めることになっているが、これは平成29年度で終了する。新たな計画の中に、この点をどのように盛り込むかが記載されていない。この点は基本計画の中に具体的に盛り込むことを検討していただきたい。

(町)

- ・5ページの将来像については、計画は10年だが、20年・30年後の未来を見ずえてイメージしたキャッチコピーと考えている。事務局案として出しているが、本日ご議論いただくとともに、庁内の中でもさらに検討が必要と認識している。本日の意見と庁内の議論を踏まえ、次回の委員会で整理してお示しし、またご意見をいただきたい。計画書が完成するのは来年の2月だが、6月頃には基本構想・基本計画を策定し、パブリックコメントを実施した上で、9月の議会に上程するスケジュールとなっている。将来像についても、6月までには確定が必要である。3ページの「(2) 地域間の連携強化」については、あくまで課題であり、4町の連携については、基本目標5の施策分野「広域行政の推進」の中で記載することになると考えている。平成29年度以降も4町の連携を進める。将来像について、皆様からさらにご意見をいただきたい。

(委 員)

- ・キャッチコピーは、残された期間は短いかもしれないが、町民から意見をいただくということも重要ではないか。検討いただきたい。

(委 員)

- ・骨子案の中では、八雲の自給率がどの程度であるか、またどの程度自給していくことができるかは気になる。地域連携については、今後は八雲町単独で何かをやるという状況ではないため、重要であると考え。主要課題が8項目あるが、これまでもこういったことが課題になっていると考える。

(委 員)

- ・おおまかな骨子案であり、取り立てて言うことはない。具体的にどういう事業をやるか、人口減少をどのように抑制していくかが重要になると考える。

(委 員)

- ・「自然美術館」の話が出ていたが、町民会議にこのグループに自身も参加していた。具体化は実施計画などで検討されるということで、基本構想ではこれでいいのではないか。

(委員)

- ・将来像を今から町民にきくことは現実的に可能か。

(町)

- ・基本構想は3月までに確定と考えており、将来像は基本構想に入るネーミングではあるが、基本計画は6月までの策定予定であり、将来像もそれまでに決まればいいと考える。6月までには、町民に周知して募集する期間はあると考える。ご意見を踏まえて、募集を検討したい。

(委員)

- ・この将来像は、アンケートなど、ここまでの調査・分析を総合的に踏まえて提案されたものだと思う。キャッチフレーズを公募するのであれば、八雲の主要な課題も示しておかなければ、実態とかい離したものになる。

5. その他

(町)

- ・基本構想の最終案を次回の総合開発委員会で示す。次回は3月22日(水)を予定している。

6. 閉会